

# クラスワイド(学級単位)のポジティブな行動支援 実践研究報告

**小学校中学年の児童たちが、  
「聞き方名人」になるための取組。**

## 学年の児童の実態

- 状況に関係なく，すぐ発言する。
- 活動に取りかかるまでに時間がかかる。
- 教員の話静静地に聞く児童が少ない。

## 教員の考え

- 人の話を良く聞き，自分の考えを深めてほしい。



## アドバイザーからの助言

- 児童の不安感が高い。
- 高学年へ向けて  
自分たちでやる，助け合う力を育てる。
- 学級のルールを明確にする。
- よい聞き方を「うなずく」という  
行動に絞って指導していこう。



# 指導目標の設定・指導に向けて

各学級の指導目標を決め、それに向けて取り組む。  
その後、学年で共通の目標に取り組み、  
学校全体へ広げていく。（KSPへ）

※KSPとは加茂小学校で行われている学校全体で  
取り組むポジティブな行動支援の名称。かもっこ  
スマイルプロジェクトという。

## 【指導目標】

「人の話を聞き終わってから発言する」

# ベースライン（支援前）

## 【記録の対象とした行動】

### ○勝手な発言

教員が話しているとき、  
許可されていない児童が発言すること。

## 【記録方法】

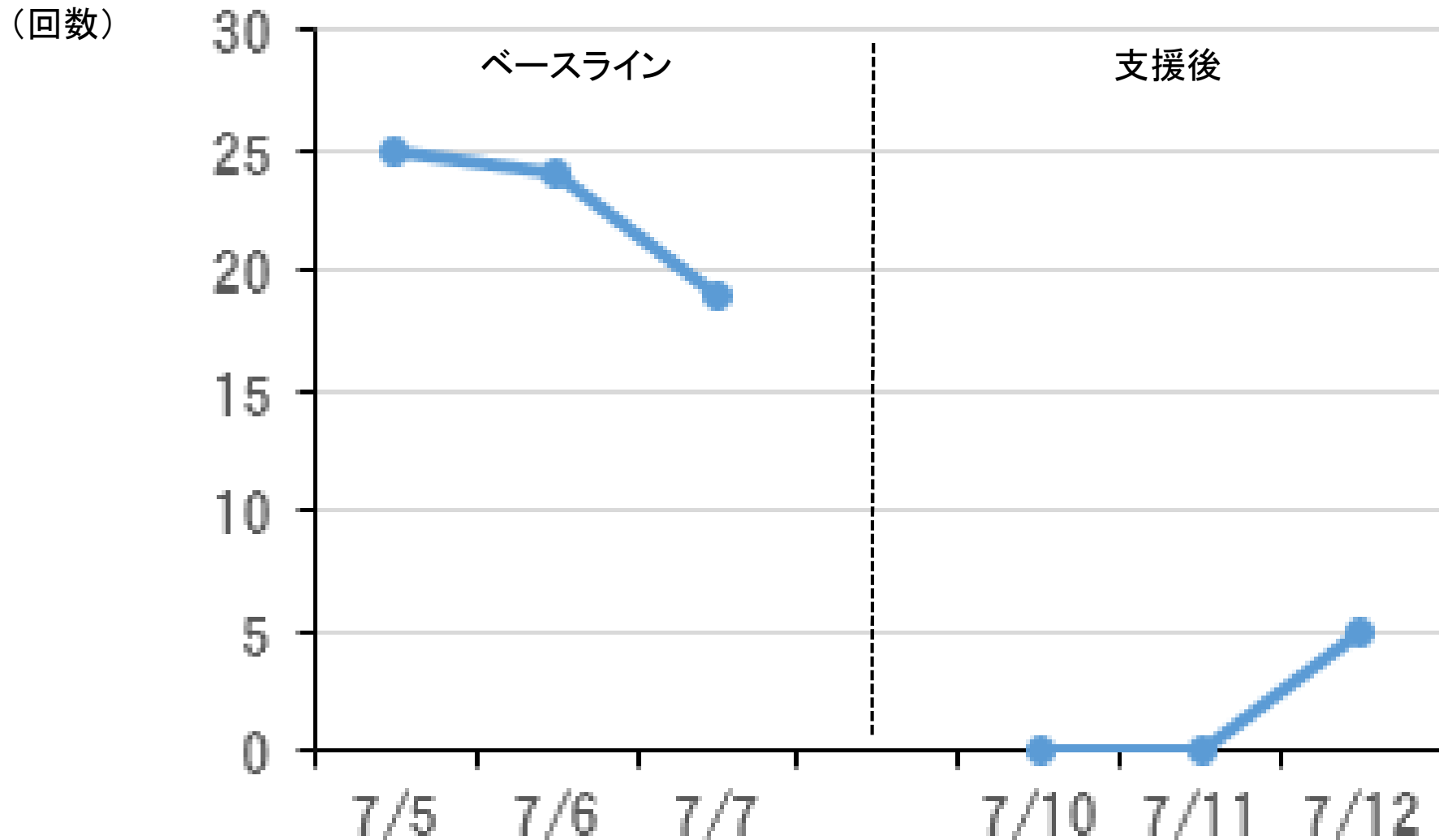
授業中（45分間）、 「勝手な発言」が  
あった回数を記録した。

# 支援方法

- ①教員の説明中の児童からの発言には手で静止し、言葉でのフィードバックはしない。
- ②説明後に質問タイムを取る。
- ③よい聞き方にはフィードバックを行う。  
(「同じです」「いいです」うなずきや返事)

# 結果

## 授業中に勝手な発言をした回数





## 指導目標2

「顔を向けて，人の話をうなずきながら  
聞くことができる」



# ベースライン（支援前）

## 【記録の対象とした行動】

○うなずきながら聞く  
教員が話しているとき、  
視線をむけ、うなずいている。

## 【記録方法】

朝の会や帰りの会で（10分程度）  
対象となる行動をとった児童数を記録した。

# 支援方法

## ～第1層支援～

- ① 「うなづく」  
行動のSSTを実施
- 1組  
(10月20日)
  - 2組  
(10月30日)



パターン1

- うなづいているのかどうか 分かりにくい。

パターン2

- うなづきすぎ (きちんと見てない、聞いてない)  
ふざけている (いやな気分)

パターン3

- 目、耳、心を<sup>向けて</sup>しっかりきく。
- 話を理解している。  
リかい  
内<sup>リ</sup>が分<sup>リ</sup>かっている。

分からないとき → 「もう一度言って下さい」  
首をかしげる OK.

# 支援方法

## ～第1層支援～

### ②「聞き方名人」へ 挑戦

- 授業中，うなづく行動を  
チェックする
- 在籍する児童の8割が  
達成すればシール1枚
- 60枚で達成とする
- 達成時には，  
ごほうびリストから  
選んだお楽しみができる

### 聞き方名人への道

みんなで聞き方の名人になる  
のじゃ。なかなか難しいが、  
やりとげられるかな…。

**初段**…相手の顔を見て，うなづきながら聞くこと

ができる。(うなづきの術)

(シール60枚で見事合格とする)



昇格！  
お見事

うなづきの術が使えてきたぞ。

次は**二段**に挑戦じゃ…。

# 支援方法 ～第1層支援～

③うなずきを促す言葉かけを行う

④良い聞き方にはフィードバック

これから  
うなずく  
チャンス  
だよ。

うなずいてくれる  
と  
話しやすいね。



〇〇さん  
うなずいて  
いますね。

うなずいて  
聞くことは、  
相手の思いを  
受けとめているというこ  
とだね。

# 支援方法

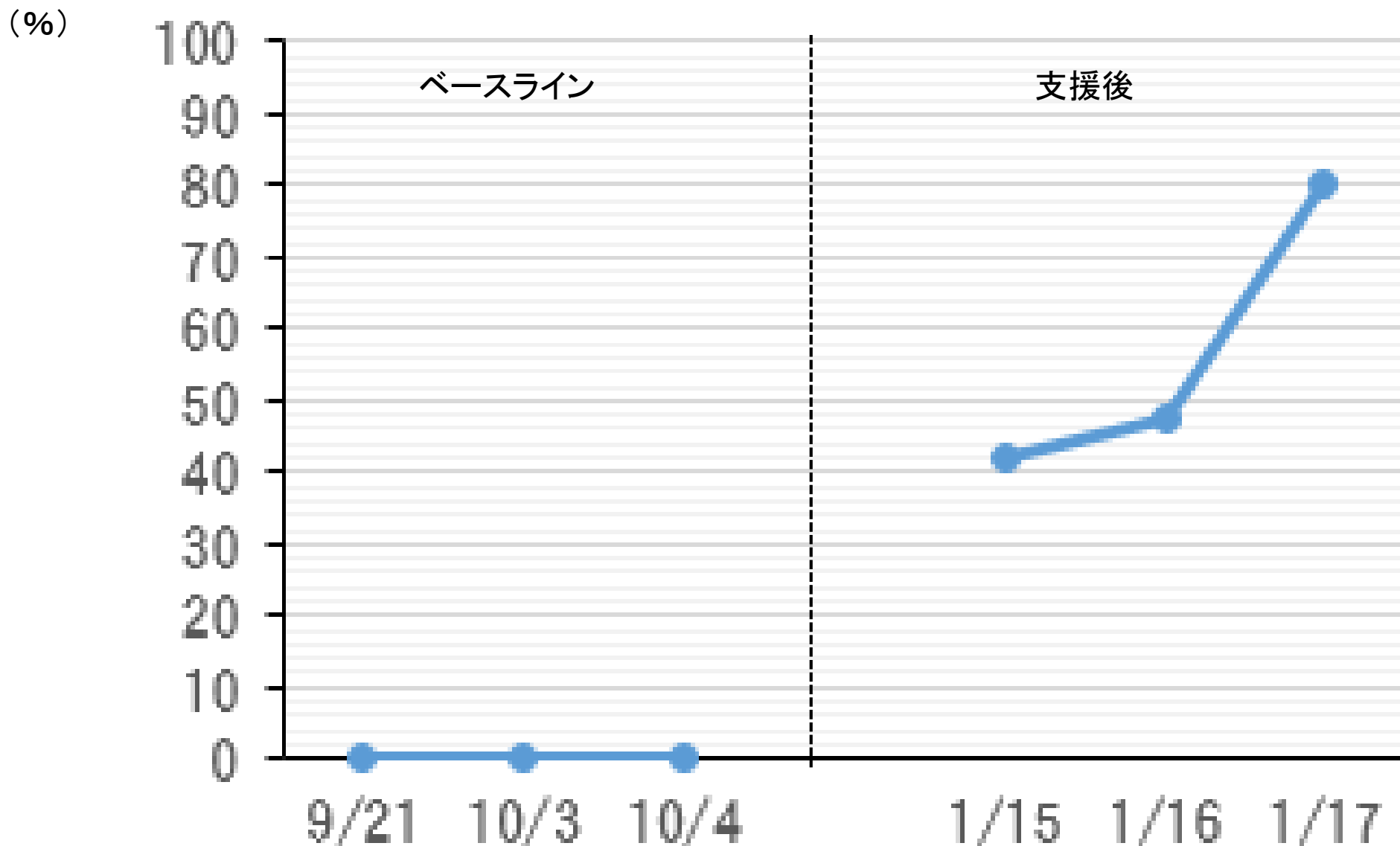
## ～第1層支援～

- ①「聞く姿勢」の取り組み前と取り組み後のビデオを見比べる（1月15日）。
  - ・7月と10月の児童の様児童を動画で撮り、クラスで見比べる。
  - ・「うなずきながら聞く」ことで、さらに聞き方名人になれると伝える。
- ②目立たないが、決められた行動が取れている児童へ積極的に声をかける。



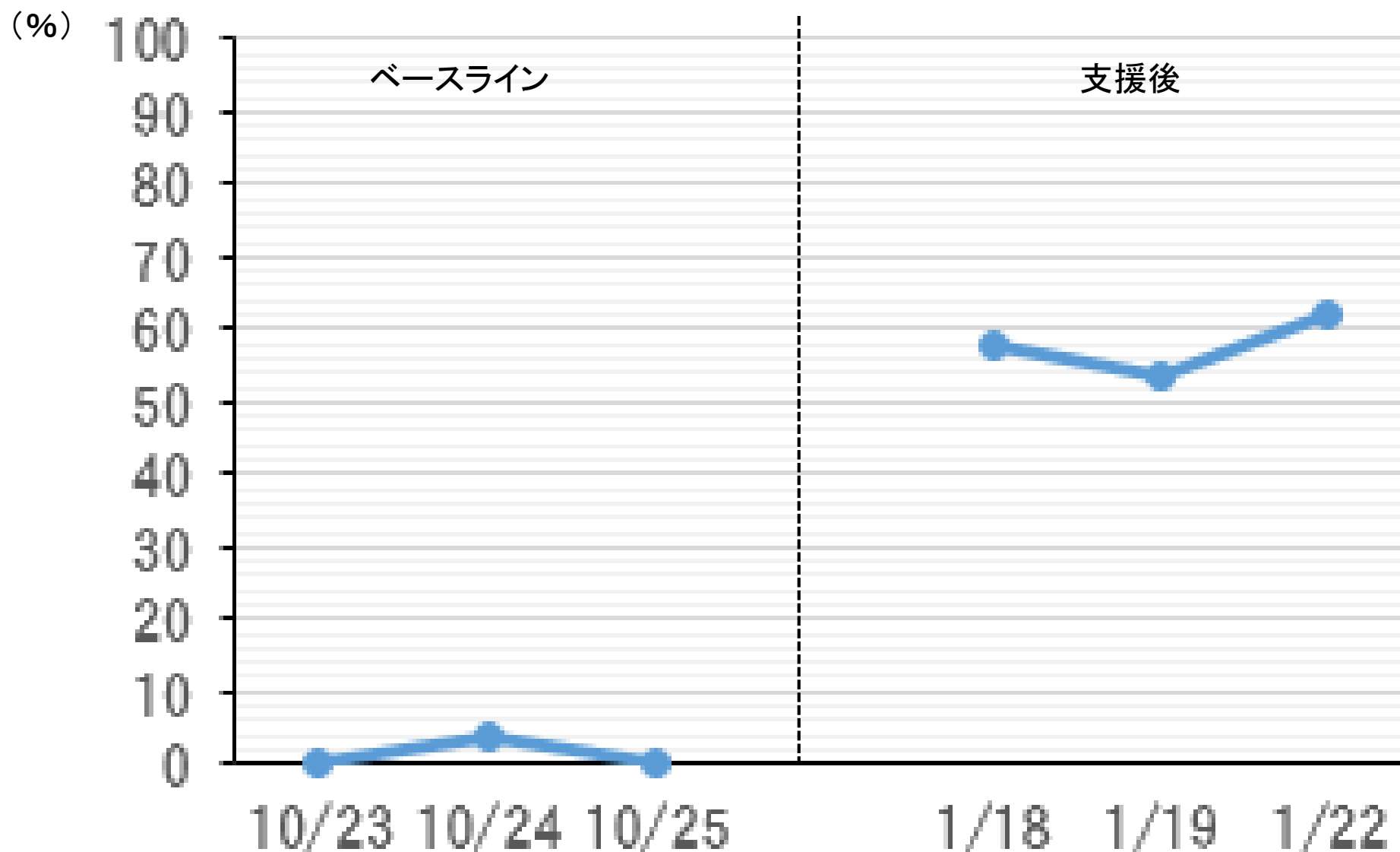
# 結果（1組）

うなずきながら教員の話聞いた児童の割合



# 結果（2組）

うなずきながら教員の話聞いた児童の割合





# 実施後の児童の変化（観察）

- 授業内容と関係ないおしゃべりや手遊びが減った。
- 作業への取りかかりが早くなった。
- お互いに助け合おうとする  
温かい雰囲気が生まれた。
- 児童たちの不安な様子の児童が減った。

安定した自己肯定感の実現

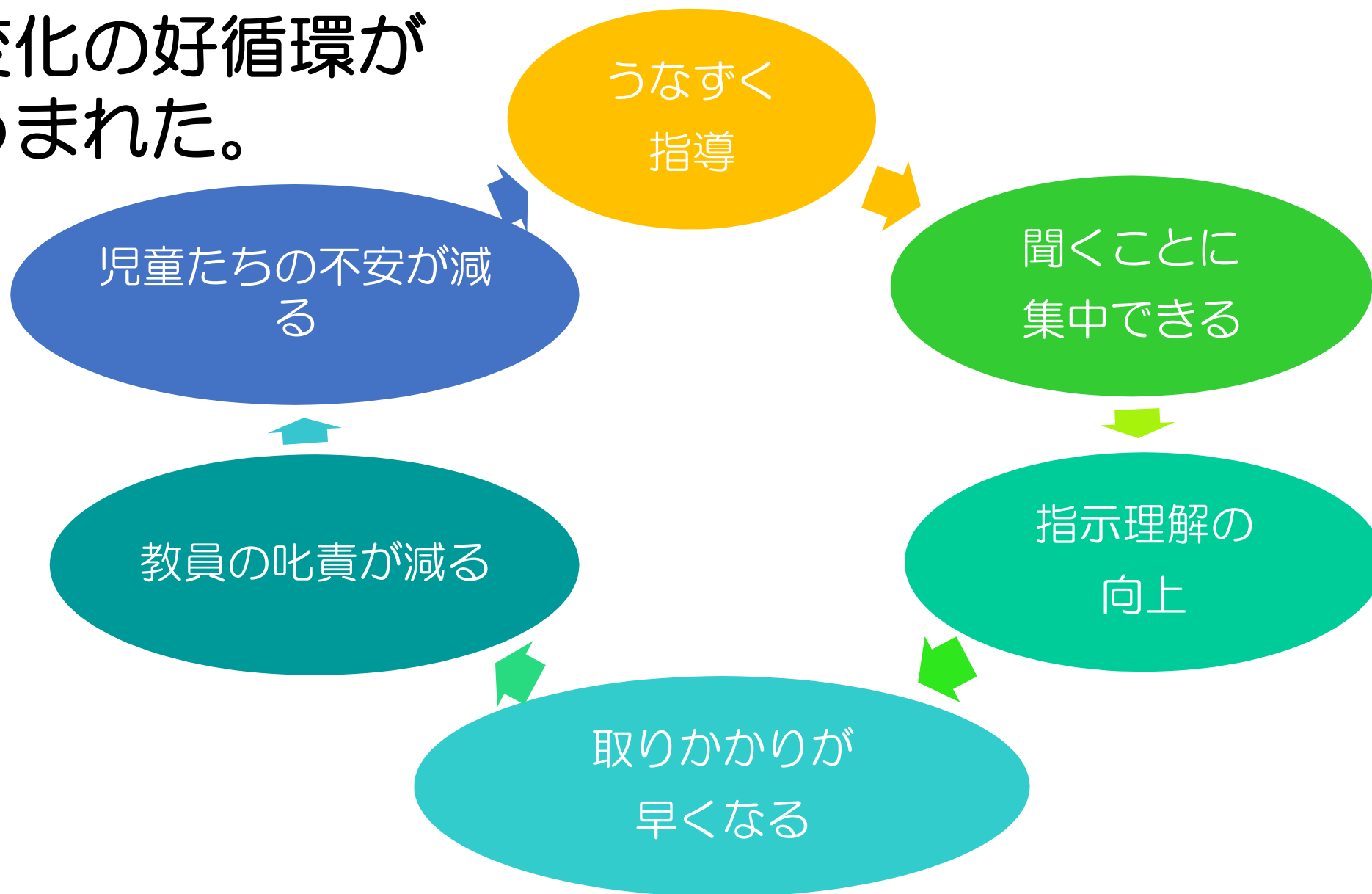
# 教員の変化

- 聞く活動と、その他の行動のめりはりをつける。
- 短く、簡潔に話す。
- 児童の反応を見ながら話す。
- フィードバックの仕方を工夫する。
- 目立たないが、決められた行動が取れている児童に目を向ける。

ポジティブな行動支援の大切さを実感

# 取り組みを振り返って

変化の好循環が  
うまれた。



# 全校での取組（KSP）へ

クラスでの取組を学校全体（KSP）へ広げる。

【指導目標】～低学年～

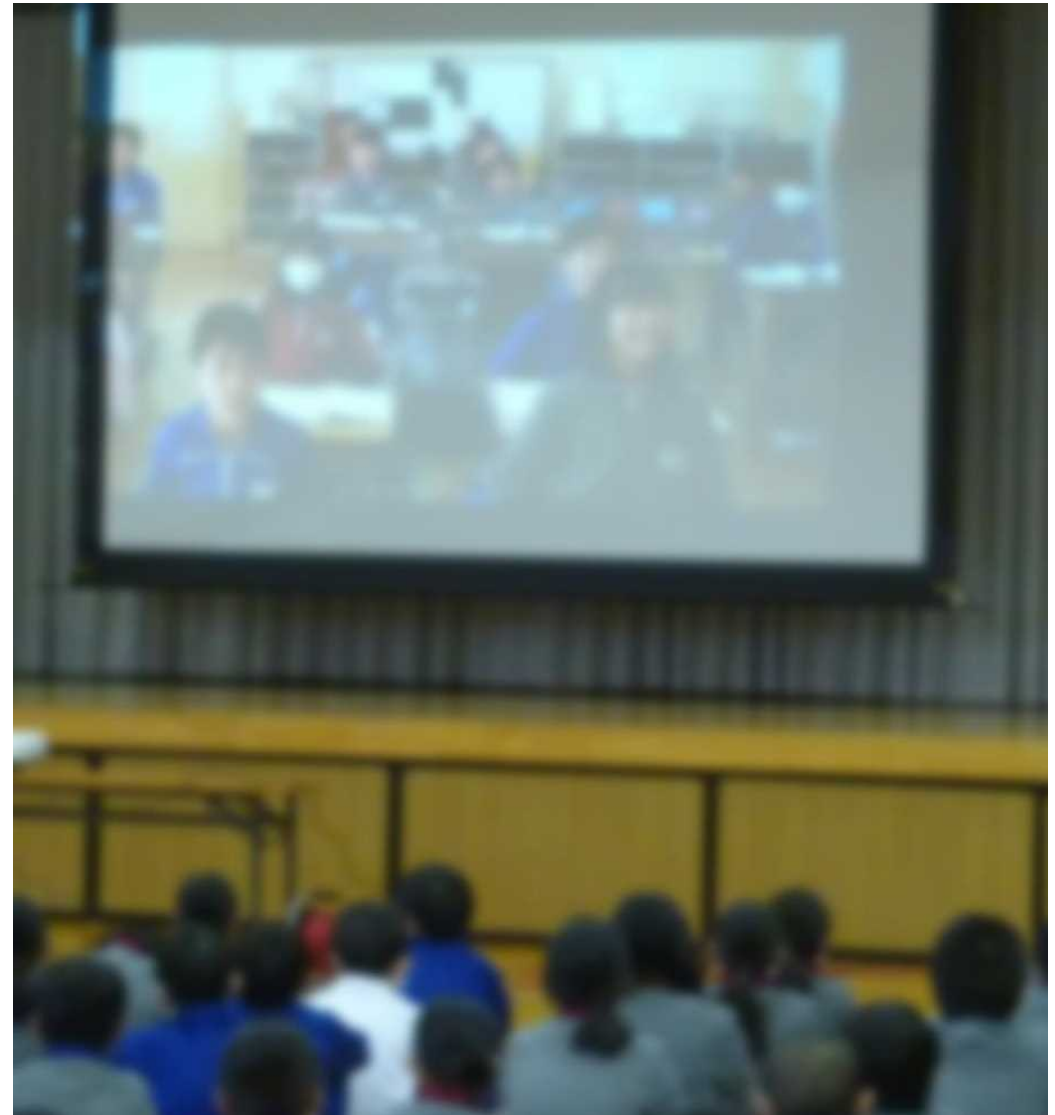
「おへそを向けて話を聞く」

【指導目標】～高学年～

「うなずきながら話を聞く」

# KSP（支援方法）

- ①朝会で学校全体に説明
- ②目標行動が見られたときは積極的にフィードバックを行う。
- ③担任の先生に記録してもらおう。



4年生児童のうなずく様子のビデオ放映（1月15日朝会）

# KSP記録方法

- 週に3回，1日1回の割合で記録
- 評価基準
  - 5点：ほぼ全員が達成
  - 4点：7割が達成
  - 3点：半数が達成
  - 2点：2～3割が達成
  - 1点：あまり見られない

## 【中・高：3～6年】 聞き名人 記録用紙

### 【記録方法】

- 週に3～5回，1日に1回以内の割合で記録をお願いします
- 記録の年号・期・月・日・曜日・時間・場所を漏れなく記入してください
- 必ず書きのときには、群への返事「はい」を書かれます
- 記録の群を明記している様子を記録してください
- できている子への評価をお願いします
- 記録を済ませた場合は、先生に知らせるか、先生にお知らせください

### 【評価基準】

- 5点・・・ほぼ全員が聞き名人状態
- 4点・・・7割が聞き名人状態
- 3点・・・半数が聞き名人状態
- 2点・・・2～3割が聞き名人状態
- 1点・・・あまり見られない状態

先生への返事は必ず記入してください

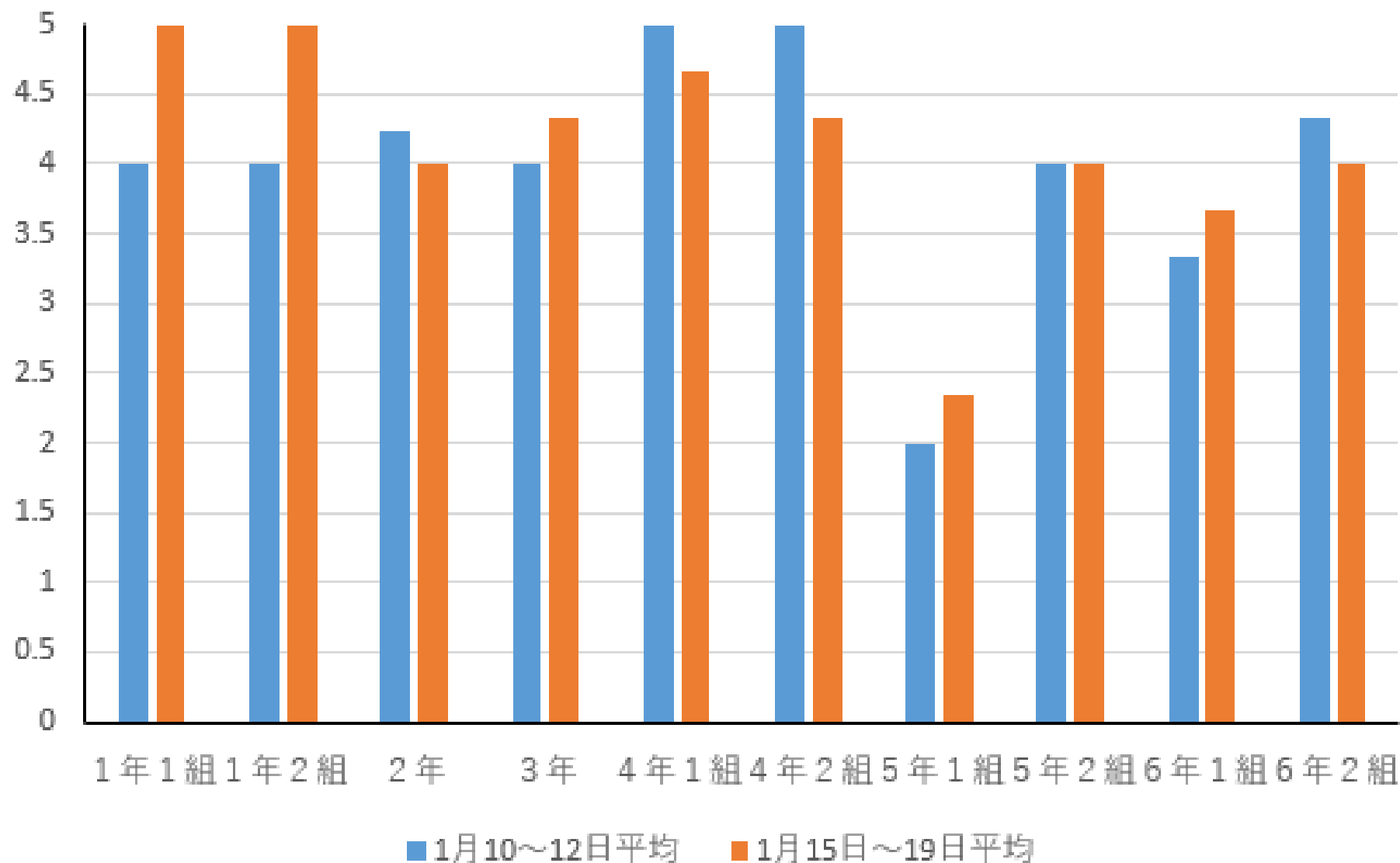
### 【記録】

2月5日 ～ 2月20日

午 組		記録番( )	
日 時	場所	評価点	
		聞き名人	必ず
月 日 校時	園の会	5	5
	園Vの会	4	4
	その他	3	2
月 日 校時	園の会	5	5
	園Vの会	4	4
	その他	3	2
月 日 校時	園の会	5	5
	園Vの会	4	4
	その他	3	2

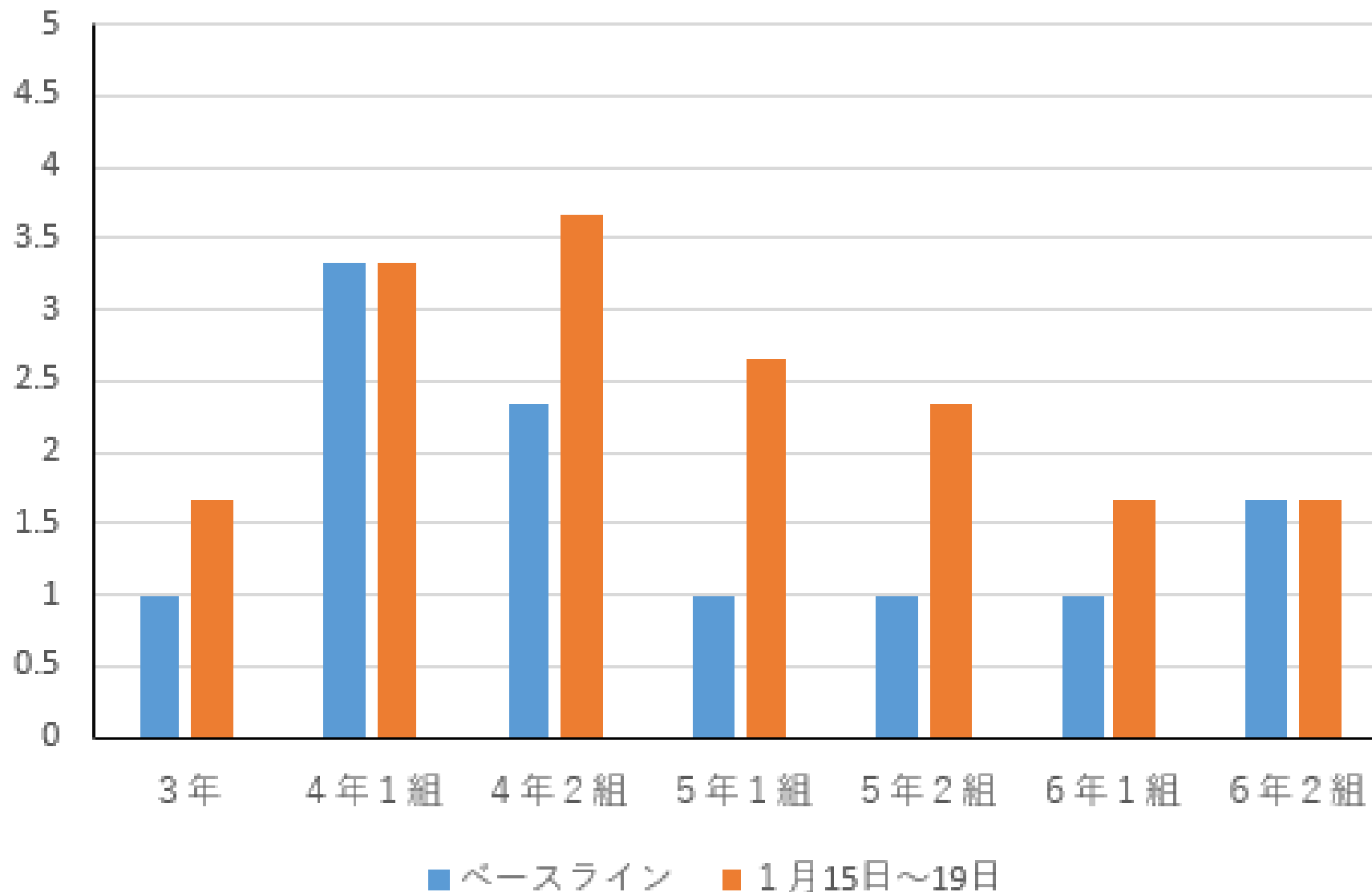
# 全体（結果）

## おへそを向けて聞く



# 全体（結果）

## うなずきながら聞く





# KSPの考察

- 対象児童らは、自分たちの取り組みが全校に広がるのがモチベーションになった。
- 昨年KSPでとりくんできた「おへそを向けて聞く」行動が、さらに増えた。
- 「うなずく」行動はやや得点が低い結果となった。しかし、伸び率がよかったので、効果があったと考えている。

# ここが成功のポイント



- 学年全体で取り組むことで、一緒に頑張っているという一体感が生まれた。
- 変化の好循環を教員が感じ、児童への支援も変わっていった。
- 同時進行していた学校規模のポジティブ行動支援の取り組みによって般化場面が増え、さらに行動の定着が図られた。